

山本邦夫市議	982・8844
巖 博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312

入学準備金(就学援助) 入学前も支給可能に

文科省が通知送付 日本共産党の論戦みものる

文部科学省が3月31日、生活保護世帯と同水準の要保護世帯の小中学生への「入学準備金」(就学援助)を増額し、小学校入学前でも支給は可能とする通知を地方自治体に送付しました。日本共産党国会議員団はランドセルや制服などの入学準備ができるよう「入学前に支給を」と求めてきましたが、こうした願いを受け止めて改善されることになりました。

八幡市3月議会では日本共産党八幡市議団は予算案の組み替え動議を提出し、国民健康保険料の追加値下げとあわせて入学準備金の繰り上げ支給を提案しました。残念ながら与党会派などの反対で組み替え提案は否決されましたが、今回の文科省の通知は、市議会での逆流を乗り越えて前進する道筋を開きました。日本共産党は入学準備金改善に全力をあげます。

就学援助

入学前も支給可能に

文科省通知・額も倍増 共産党の要求実現

文部科学省は3月31日、生活保護世帯と同水準の要保護世帯の小中学生への「入学準備金(就学援助)」を増額し、支給は小学校入学前も可能なとする通知を都道府県教育委員会に出しました。日本共産党国会議員団が、必要な時期に必要な額を、文科省に改善を求めたことを受けて、文科省は「児童又は生徒」の通知による、入学準備金の単価は、小学生は1人4万6000円、中学生は4万7400円を、前年より倍増します。「援助を必要とする時期に速に支給できるように」

これまで「児童又は生徒」としてきた入学準備金の交付対象に「就学志望者」を加え、これにより、入学準備金の交付対象は、これまでより拡大され、入学準備金の交付額も倍増します。

文科省は「入学準備金は、実際に必要な金額に引き上げ、低所得者層に重点的に支給する」とし、通知は「通知を(同日)と求直しが必要だ(16年5月)」。松野博一文科相は「小と要求。創造文科相(当学校)に入学前までについて、時が改善を要し、17年も国の補助対象とできるよ、度々単価が倍増された」

前支給に踏み切る自治体が改正を検討している。前金額に広がるが、日本共産党の松野博一議員、文科省は通知を出し、自治体の取り組みを示すことを約束している(国としても前回の支給を決めた)(3月8日)

入学準備金の単価について求め、文科省は「中学で日本共産党の田村智恵子議員は、実際に必要な金額に引き上げ、低所得者層に重点的に支給する」とし、通知は「通知を(同日)と求直しが必要だ(16年5月)」。

松野博一文科相は「小と要求。創造文科相(当学校)に入学前までについて、時が改善を要し、17年も国の補助対象とできるよ、度々単価が倍増された」

◇就学援助問題を報道した「しんぶん赤旗」2日号

核兵器禁止へ国際会議 6月までに条約草案

3月末までニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約の交渉会議が開かれました。会議はいったん閉会し、6~7月に第2会期を開きます。

会議のホワイト議長は6月までに条約草案を示し、条約を採択したいと決意を述べました。

志位委員長も発言

核保有国や日本政府が参加を拒否する中で開かれた会議でしたが、各国政府、市民団体が発言し、原水爆被害者団体協議会の藤森事務局次長、日本共産党の志位和夫委員長も発言しました。

八幡市の3月市議会では、市長に平和首長会議への参加を求めましたが、市長は「加盟しない」意思を表明するなど、核兵器廃絶の内外の流れに背を向けました。



国連会場で被爆者が発言

市長は背向けないで 平和首長会議に加盟を